

◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央部にある地区で、東急東横線の菊名駅を中心とする住宅地と新横浜駅周辺の商業施設等と混在する住宅地があります。公的施設、医療機関、商業施設が多く、区内でも早くから開発された地域です。東急東横線の大倉山駅、菊名駅、JR 横浜線の菊名駅と新横浜駅、市営地下鉄ブルーラインの新横浜駅が利用されています。

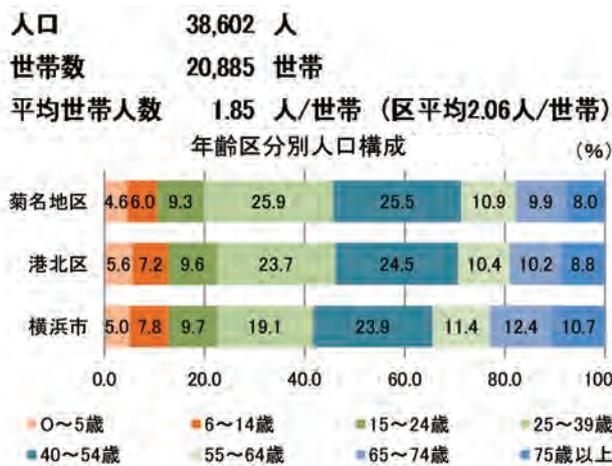
人口等の特徴

地区全体としては、人口、世帯数は緩やかに増加し、新横浜 1～3 丁目エリアで人口、世帯数が増加する傾向があります。平均世帯人員は区の平均に比べかなり少なくなっています。高齢者の増加傾向が強く、14 歳以下の人口の緩やかな減少が進みます。20 歳代の転入増加傾向が続いているため、現在は 25～49 歳が多い年齢構成になっていますが、今後は現在の年齢構成が大きく変化せず高齢化すると考えられます。

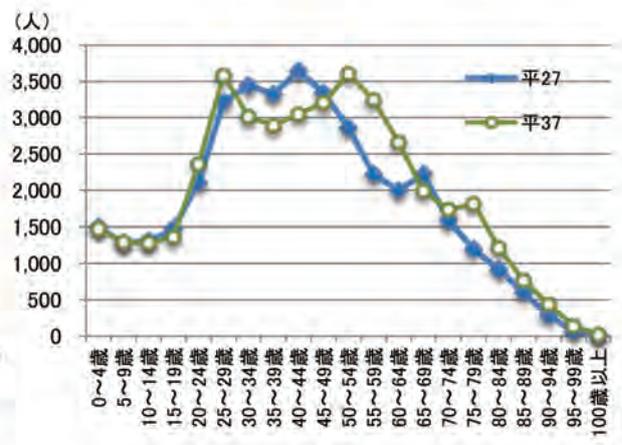
福祉保健活動の状況

特徴の異なる 3 つの地区があり、それぞれ、高齢者の見守り、障がい児者との交流、災害時の対策、子育て支援などの活動を行っています。

人口、世帯数などの状況 (平成 27 年 9 月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと 3期計画の方向性

●今までの取り組み

菊名地区は抱えている課題や住環境が異なることから、民生委員児童委員協議会エリアごとの 3 地区で取り組みを進めました。菊名北地区は「高齢者 110 番」の設置、大豆戸地区は障がい児者理解の啓発や見守り、篠原北地区は坂道へのベンチ設置、サロンの運営などに取り組み、それぞれの地区で高齢者や障がい児者が安心して暮らせる地区を目指しました。

●地域の現状と課題

後期高齢者を中心に増加傾向にあるため、支援の必要な高齢者が増えることが予測されます。一方でマンションが建ち、若い世代の転入者も多く住む地区でもあります。このため地区とのつながりづくりや孤立予防、介護予防、子育て支援等が課題です。

●今後の方向性

3 地区の共通テーマとして高齢者がいつまでも元気に過ごすことができる活動の充実に向けて取り組みます。そして、各地区のそれぞれの特性に合わせた具体的な計画も推進していきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

3 地区ごとに計画の推進と振り返りを行い、菊名地区全体としては、町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等で構成する推進委員会を定期的に開催し、3 地区の事業の実施、推進状況の共有、確認等を行います。

◆具体的な取り組み

みんなが安全安心に暮らせるまちを目指します



- 日頃の見守りを推進します。
 - ・「生活安全安心メモ^{*}」の内容を更新し配布することで、適切な活用に向けた確認や助言を行い、顔の見える関係づくりのきっかけとして活用します。(3地区)
 - ※「生活安全安心メモ」…自身の名前、住所、緊急連絡先を記入、いざという時に役立つような地区情報などを記載したリーフレット
 - ・「高齢者110番」の成果の検証を定期的に行い、活動の住民理解が進み協賛者が広がるよう周知を強化していきます。(菊名北)
 - ・高齢者、障がい児者とその家族への理解、交流、支援を継続します。(大豆戸)
- 環境整備を進めます。
 - ・高齢者や小さなお子さんを持つ方も外出、散歩の途中でひと休みできるよう、坂の途中にベンチの増設や補修を行います。(現在7カ所)(篠原北)

災害時に備えた取組を強化します



- 災害時要援護者支援事業の取組を進めます。(3地区)
 - ・災害時要援護者の名簿の充実を図り、日頃からの見守る仕組みを充実していきます。
- 防災訓練を通じた取組を進めます。(3地区)
 - ・防災力を高めるために、災害時の安否確認を含めた地域防災拠点訓練に取り組んでいきます。

交流を深め、元気で暮らせる町づくりを進めます



- 交流の場づくりを進めます。
 - ・イベントなどの機会を活用し、子どもから高齢者までの異世代交流を活発に行うなど、子どもたちと地域の輪を広げます。(3地区)
 - ・高齢者が定期的に交流できる場を設け、介護予防、認知症予防にもつなげる活動をさらに充実していきます。(3地区)
 - ・「おでかけバス」が地区の方々に幅広く利用され、支援するボランティアも増やし、活動を広げていきます。(篠原北)
 - ・障がい者の会やその支援団体などによるチャリティバザー等を通して、交流の輪をひろげます。(3地区)
- 健康づくりを通じた取組を進めます。
 - ・介護予防、認知症予防、健康づくりへの意識が高まるよう活動に取り組みます。(3地区)
 - スクエアステップ^{*1}、スリーA^{*2}、楽しく健康体操、元気づくりステーションなど
 - ・子どもから大人まで気軽に参加できるラジオ体操を身近な場所で実施し、異世代交流や効果測定も実施します。さらにこの交流を発展させ、ウォーキング、歴史散策などにつなげていきます。(大豆戸)
 - ※1「スクエアステップ」…マスのあるシート上で一人ずつ様々なステップを踏み介護予防や認知症予防を行う。
 - ※2「スリーA」…明るく、頭を使って、あきらめないの頭文字でスリーA。手遊びや道具を使い認知症予防を行う。

「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



菊名北

- ◆菊名北町町内会
- ◆大倉山喜久和会



気軽に相談できる
「高齢者110番」



盆踊り



子育て支援 「公園遊び」

大豆戸

- ◆大豆戸町内会
- ◆大倉山ハイム町内会
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会
- ◆アデニウム新横浜自治会



防災訓練
緑と黄色のバンダナ運用訓練



高齢者と子ども
たちの交流



地域と共に打ち水大作戦

篠原北

- ◆錦が丘町内会
- ◆表谷町内会
- ◆泉ヶ丘町内会
- ◆ふじ町内会



錦が丘町内会防災訓練
(いっとき避難場所への参集
と白布安否確認訓練)



おでかけバス



ベンチでひと休み

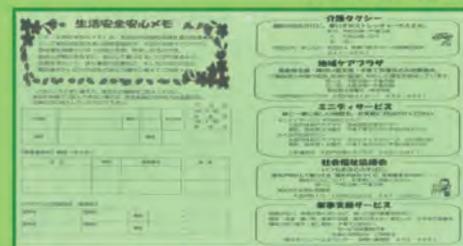
3地区共通



敬老会



障がい者
チャリティバザー



生活安全安心メモ

上記以外にもいろいろな活動がありますよ♪

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

大豆戸地域ケアプラザ

TEL 045-432-4911 FAX 045-432-4912

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp